

七夕リつぶ通信

笑顔を咲かせよう♪



横浜市藤棚地域ケアプラザ
のデイサービスのお客さまを訪ねて

Vol.7 | 令和3年
2021 8月号

自筆の書「大地を踏み青空を仰ぐ」の前で会話がはずむ小原さん（左）と北川ケアマネジャー。

うまく動かせなくなっていた右手も、デイサービスでのリハビリ体操で改善。今まで書を頼まれるほどに。

小原令子さんは昭和11年生まれの84歳。このの日で85歳になります。横浜市西区の藤棚地域ケアプラザで10年間、デイサービスを利用されていますが、通い始めたのはご主人を亡くされ、ご自身も体調を崩されていた頃、なにかで調べた娘さんがこういっつじんがあるよ、と教えてくれたのがきっかけだったそうです。以来デイサービスのある火曜日と金曜日が、小原さんにとつて特別な日となりました。仲のいい人とも会えるのが楽しみで、朝から張り合ひが生まれるのだそうです。

もともと書道をやっておられ、新聞社主催の読売展、毎日展などで何度も入選されているほどの腕前だった小原さんは、デイサービスを利用する以前に右手をうまく動かせなくなる症状に悩まされていたといいます。それが藤棚地域ケアプラザに通いはじめ、スタッフの勧めもあって再び筆をとるようになり、職員たちが支える長い訓練とリハビリ体操の甲斐があり、とうとうまた右手で書けるようになったのだそうです。



右手の回復のためにいまでもボールを使ってリハビリをする小原さん。

「10年通つてみると仲のよい人やスタッフも
移り変わる。でも藤棚のあたたかさは変わ
りませんね、と小原さん。



わが子と同じような年頃の娘をはじにお世話して
いただいし、とひやうれしひよ語る小原さん。『ダイ
サービスの帰りは、感謝の気持ちでいっぱいになつて
元気にバスで帰途につかれるところます。せつかく
元気をもらつたのだからと、ティサービスのない日
もじ自身で健康管理にとめられ、いの「ロナの時
勢、とくに手洗いというが」を意識してゐるそつ。
朝起きると、袖をしっかりとし上げて手首からよ
く手洗いし、口をゆすぐのが日課。そして生協で完
配してもうつてこなる食材で献立を考えて作り、あち
こち小さなやうじをしながら、じ自身で料理を
して健康を保ち、毎日を樂しく過ぐるよつに心がけ
てこらるとのこと。

「10年通つてみると、仲のよい方も、お世話をへくだ
れる皆さまも、このまにか変わってしまつます。で
やいじ藤棚地域ケアアフ
ザのあたたかさは変わり
ませんね」とほほえむ小
原さん。周囲のスタッフや
厨房の中のスタッフにも
頭をさげ、感謝の気持ちを
伝えようとしているそ
の姿に、お話を聞かせて
ただいていたわたしたち
も頭のさがる思いでした。

「自身の努力や姿勢が機能回復などの好
循環につながつてゐるのでは、と北川ケア
マネジャー。

やうした小原さんの様子
を見守つてこなる藤棚地域ケ
アアフザの北川ケアマネ
ジャーによれば、小原さんは
藤棚に来ると、つねに帽子や
脳アレなどに取り組まれ、周
囲のスタッフに感謝の気持ち
を伝えておられる様子で、そ
うしたじ自身の努力や姿勢
が右手の機能回復など好循環につながつてゐるのでは
ないかとひつひつとしました。ケアマネジャーになつて8年
とひつ北川さんですが、その経験のなかで意識してき
たことは、サービスを利用するお客さまやじ家族の声
によく耳を傾けぬこと。なにかをしてあげるとこつ感
覚になりなじよつ氣をつけて、人生の大先輩である人
の経験や声に耳をすませることだけです。あると
最初のつちはわからなかつた言葉の意味や重みに、ハッ
と気がつくこともあるのだと。傾聴するところと
の大事さをあつたため感じぬひとです。

お客さまがさびしかつたり、つりかつたりするとき
に、やじをじつ変へてくか、お付き合つてくかを
ケアマネジャーの課題としつねに考えてこらるとい
ます。またその過程で感じるのは、答へはひとつではな
いといつひと。いろいろな答えがあり、何年やつして
も勉強になり、新たな発見になることが多じゆうじゆです。



一人ひとりのお客さまに寄り添うことの大
事にしつつ、施設全体をしつかり見たい、
と端戸さん。

「の日、小原さんと樂しかつて会話してた端戸さん
は今年4年目の生活相談員。藤棚地域ケアアフザで
は、長く勤めてこなるスタッフが多く意見交換も活発で
仲のよいのと、やうした霧岡さんが、小原さんがあれ
た『藤棚はいつもあたかかい』といふ印象につながつて
いるのかなと感じぬれどじゆ。じつは、端戸さんの祖母
も小原さんと同じ年の84歳。このため親しみを感じる
と同時に、「小原さんが一人暮りしをされ、プライドを
持つて生きていらつしやる」とに感動を覚えます」との
こと。介護職員として、また生活相談員として、一人ひ
とりのお客さまに寄り添つことを大事にしながりや
33名の定員のお客さま全体を見なければならなつた
で、その部分の歯がゆさのようなものを感じつつ、つね
に入ひとりのお客さまに必要とされる存在であるよ
う心かけてこなれています。事務的な仕事も大事です
し、現場の身体介護も大事。両方をやりとじやつてこ
たじと考へてこなれています。

大学では福祉系ではなく芸
術学部に進んだそつですが、
自分が持つてこる能力はなん
でも發揮して役立つと、藤
棚地域ケアアフザでは、ほとん
ど日替わりで端戸さんの描い
たイラストなどが飾られて
ます。訪問した日は、お客さま



人に気のあつたつな名優笠智衆の「アーヴィング」で、現場にいるおじをもたらす大
学部に進んだ」といふが、現場にいるおじをもたらす大きな力となつてゐます。

藤棚地域ケアプラザのよさを大事に守りながら、さうによりよい施設を目指したいと本間所長。

「いつもお客さまをお迎えして、スタッフが働く藤棚地域ケアプラザを統括しているのが本間所長。南区にある清水ヶ丘地域ケアプラザから異動してきてまだ10カ月ですが、これまでの長い経験を生かしてさまざまな改善にも取り組んでいます。



本間さんが考へるよし事業所かどうかの基準は、「自分の親が来て楽しそうと思ってくれるか、退屈しないでいてくれるか」。幸運、お客さまの小原さんから「藤棚はいつもあたかかい」とおほめの言葉をいただいたように、10年間にスタッフはかなり替わりましたが、よつ伝統が受け継がれているのはたしかなよつですと、本間さん。そのよだ、あたたかさを大事に引き継ぎながら、さうによりよい藤棚にしていきたいと熱く語ってくれました。

デイサービスも選ばれる時代。まず大事なのは施設が明るいか、きれいかといつゝこと。

所長として必ず実行するのは、すべてのお客さま

と毎日言葉を交わすこと。「いまはデイサービスもお客様が選ぶ時代。

お客様が見学に来られたときに、まず大事なのは施設が明るいか、きれいかといつゝこと」。施設のメンテナンスや改善は、所長として責任をもつてやらなければ語ります。藤棚地域ケアプラザに来て以来、暗かつたトイレの照明をLEDに変えて明るくし、汚れが目立つていたフロアを明るいフローリングに取り替えたそです。「トイレが暗かつたら排便の状態もわかりませんし、床がきれいでなかつたら気持ちよくなりでしょう」と明るく笑う本間所長。さうに

コロナ渦の現在、食事やレクリエーションなどしている時間が長い丸いテーブルの上に、しっかりと感染防止の透明アクリル板を設置しました。随所に所長やスタッフのアイデアと情熱が發揮されている藤棚地域ケアプラザ。これからも、いつ来てもあたたかい、明るいケアプラザであり続けてくれることであります。

藤棚地域ケアプラザ

はデイサービス、認知症デイサービス、ケアプラン作成を行っています。相鉄線西横浜駅より徒歩10分、横浜市営バス68系統(横浜駅西口→滝頭)102系統(横浜東口→滝頭)藤棚町2丁目下車徒歩1分。

所在地：横浜市西区藤棚町2-1-98
☎ 045-253-0661

お気軽に問い合わせください。



テーブルに合わせて工夫した透明アクリル板。

小さな商店街ながら、行列のできる和菓子店さんや昔ながらの喫茶店など魅力いっぱい。

「ここが地元の穴場スポット 藤棚サンモール商店街



道に埋め込まれたレリーフ。



歩いて5分ほどの藤棚サンモール商店街は、小さいながら地元では欠かすことのできない人気の商店街。横浜の古い歴史を刻む「保土ヶ谷道」という由緒ある街並みでもあります。昔ながらの居心地のいい喫茶店から、惣菜屋さん、八百屋さん、イタリアンのテイクアウト店などが軒を並べています。とくに人気なのが、つきたてのお餅でつくりたおはぎや和菓子、お赤飯、おにぎりが評判の『小ささほん田』という和菓子屋さん。朝10時の開店なのですが、開店前からたいてい順番待ちになつて、売り切れしだい閉店してしまつとうです。この日は、運よく売り切れる前にかしわ餅を買つことができた本間所長が、スタッフにうれしそうに配つてしまつた。まさに地元の人々に愛されてこそ名店。そんなお店が立ち並ぶ藤棚サンモール商店街は、ぜひチェックしておきたいですね。

デイサービスってこんなところ

※協会のデイサービスの一般的な例です。詳しくは各地域ケアプラザにお問い合わせください。

デイサービス1日の流れ



8:30～

送迎

ご自宅へお迎えに伺います。



12:20～

昼食

温かいお食事を召し上がっていただきます。



14:00～

レクリエーション・機能訓練・脳トレ

日常動作訓練・体操・ゲーム・趣味活動など、選んで楽しく!



15:00～

おやつタイム

おやつを、みんなでいただきます。

16:35～

送迎

ご自宅へお送りします。

食事が楽しみ!

季節にちなんだバランスの良いお食事を、心を込めて作っています。



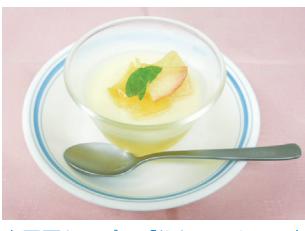
藤棚ケアプラ「敬老御膳」



大場ケアプラ「エビとカシューナッツの炒め物」



星川ケアプラ「二色丢と天ぷら」



大豆戸ケアプラ「りんごのムース」

「個別機能訓練」って何?

いつまでも元気で生き生きとした在宅生活が送れるように、お客様の身体機能や生活能力の維持または向上を目指したデイサービスのメニューの一つです。具体的には、デイの相談員などが実際にお客様のご自宅を訪問して生活状況を把握し、お客様一人ひとりにあった運動や脳トレの計画を看護師などと一緒に立て、5人ぐらいまでのグループか一人で、専門の看護師による訓練を受けることができます。



介護者のための相談電話

介護に疲れたとき…ほっとライン

介護に疲れて行き詰まったり、不安になったりしたとき、ひとりで悩まないで、ほっとひと息ついてみませんか？

♪045-227-1718

※受け付けは年末年始および祝日を除く月曜～金曜の8:45～12:00／13:00～17:15まで。ご相談の秘密は厳守いたします。

協会の理念

- お客様の満足
- 人を大切にし共に育ちあう協会風土
- 公正で透明感のある協会倫理

「お客様相談室」をご利用ください

「お客様相談室」では、事業やサービスについてのご意見やご要望をお受けしています。まずはお気軽に電話ください。

♪0120-701-782 FAX 045-227-1721

社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会

〒220-0021 横浜市西区桜木町6丁目31番地 6階

045-227-1700 FAX 045-227-1701
ホームページ <http://www.hama-wel.or.jp/>